

## ◇新年度のご挨拶を申し上げます◇



2階統括支援長  
二間瀬 竜夫

和らぎ苑2階フロアで統括支援長となりました二間瀬竜夫と申します。日頃はご利用者のお世話をさせてもらっていますが、振り返ると自分自身がご利用者やスタッフに支えられていることが多く、その支えがあったからこそ今の自分があると感謝しています。今後も「人の幸せを喜びとして」邁進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

今年度より3階フロアの統括支援長に就任いたしました。今まで以上に和らぎ苑が一つになれるように複数部署・多職種連携を進めていく役割を担うこととなり責任の重さを感じております。ご利用者一人おひとりが何を望んでおられるかという視点を大切に、ご利用者を中心とした看護ケア・支援を提供できるように微力ながら取り組んでまいります。和らぎ苑を利用される全ての方のより良い生活に貢献できるよう一意専心皆様のご期待に添えるよう努めていきたいと思っております。



3階統括支援長  
大石 一徳

新年号が「令和」と決まった4月に和らぎ苑も新年度が始まりました。今年度和らぎ苑は在宅支援の体制を今まで以上に強化していく事になり、在宅部門の統括支援長として担当させて頂くことになりました堤智一です。昨年までは生活介護ポプラで支援長をさせていただきました。これからは、ひまわり（児童発達・放課後デイ）の他、在宅部門にどんどん参加させていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



ポプラ統括支援長  
堤 智一

この4月よりリハビリテーション室の統括リハビリ長となりました榎勢道彦です。昨年度までは主に重症心身障害のある子どもさんとそのご家族の在宅支援に関わらせていただき、子どもさんとそのご家族、職員とともに様々な経験をさせていただきました。これからは入所ご利用者の方々、在宅ご利用者の方々とそのご家族の「いのち」「くらし」「いきがい」を支援するリハビリテーションを職員とともに発展させていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



統括リハビリ長  
榎勢 道彦

皆さん、こんにちは。この春より、和らぎ苑医療技術部の統括を担当させて頂く事となりました黒岡浩一です。私は、四天王寺福祉事業団にお世話になって、この4月を迎えてはや32年目となりました。これまでは、間接的ではありますが、ご利用者の方々と関わりを持たせて頂き色々学びの場として経験をさせて頂きました。今後も貴重な経験を糧として初心を忘れずに業務に取り組み、ご利用者の方々の笑顔が見られる様に、多職種連携でより良い利用者サービスを目指し、貢献できる様に取り組んでいきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。



統括調理長  
黒岡 浩一

## ボランティア報告



1月の誕生日会には、歌声喫茶バンド「クツワムッシューズ」の皆さまが来苑されました。ちょっと懐かしい？昭和の名曲をたくさん演奏してくださり、ご利用者も楽器を鳴らしたり、一緒に曲を口ずさんでみたりと大盛り上がりでしたね。



2月の誕生日会には、「スマイル」さんが来苑され、華麗なマジックを披露してくださりました。いつ見ても、その鮮やかな手さばきに見入ってしまいますね。あっ！と驚くたくさんのマジックに皆さまも釘づけでした。



3月の誕生日会には、女声コーラス「よつば」の皆さまが来苑されました。誰でも一度は耳にしたことがある曲を、ピアノに乗せて歌い上げてくださりました。素敵なハーモニーと、お人形を使ったパフォーマンスに皆さまもうっとり♡



4月の誕生日会には、日本ミュージックケア協会の皆さまが来苑されました。こちらの方々は和らぎ苑家族の会のご尽力で、この度の来苑が実現いたしました。手拍子や楽器を使った様々な『音』を通して、ご利用者の笑顔を引きだしてくださりました。職員もご家族も一緒になって楽しむことができましたね。

ボランティアの皆さま、楽しいひと時をありがとうございました。引き続き、和らぎ苑をよろしくお願いいたします。！！

# 和らぎ苑

第62号 春号 発行月：令和元年5月

## ◇新年度のご挨拶を申し上げます◇

四天王寺和らぎ苑 施設長 塩川智司



元号が改まり、令和初めての『和っはっはっ』から、新年度のご挨拶を申し上げます。耳に優しい響きの「れいわ」ですが当初、『令』の字から命令、律令など、ひざまずいている人に申しつけるというイメージがありました。しかし知るとともによい元号だと思えるようになりました。『令』は“吉”と通じ、“めでたい”をあらわし、よい、美しいなどの意味があります。令和の英語訳は、“Beautiful Harmony 美しい調和”だそうです。『和』は、聖徳太子が“和を以て貴しと為す”と十七条憲法その1に記され、四天王寺が最も大切にしてきた思いです。

新元号の出典は、万葉集の大伴旅人作とされる五卷「梅花の歌 序文」にあり、『時に、初春の令月にして、気淑(よ)く風和(やわ)らぎ、梅は鏡前の粉(こ)を披(ひら)き、蘭は珮後(はいご)の香を薫(か)をらす。』で、「春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい。」との願いを込めて決定されました(日経新聞2019年4月2日)。この令和を迎えて、和らぎ苑では現場の思い、意見をより反映できるようにとの願いを込めて体制を変更しました。すなわち入所支援、在宅支援、医療技術部の各部門のまとめ役としての統括職をもうけました。(後頁に統括職員の紹介があります。)体制が成熟するには時間を要するかもしれませんが、すべては利用者さんたちの笑顔のためにと考えています。ご家族の皆さん、職員とともに力を合わせて、新元号に込められた『明日への希望と、大きな花』を、障がいを持つ方にも等しく、それぞれの人生の中で咲かせてもらいたいと願います。

## お花見スポット紹介

春といえば、桜の季節ですね。和らぎ苑の周辺には、たくさんのお花見スポットがあるのはご存じでしょうか。けあばるや向陽台小学校前が、和らぎ苑の皆さまの定番お花見スポットになっており、天気の良い日にはお散歩に行ってきました。今年の桜は咲き始めが早かった分、散るのも早かったですが、平成最後のお花見はいかがだったでしょうか。次の春も楽しみですね！



発行者：四天王寺和らぎ苑 広報委員会

四天王寺和らぎ苑

ホームページ

〒584-0082 富田林市向陽台1-3-21

四天王寺和らぎ苑

検索

TEL：0721-29-0836 (代) FAX：0721-29-3916

E-mail：yawaragien@shitennoji-fukushi.jp